

編 集 後 記

まずは、今回の17巻刊行にあたり、ご尽力をいただきました編集委員および大学院職員の方々にお礼を申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。

今回17巻の掲載者は、令和2年3月修了生全員です。これまで、編集にあたって、継続刊行、修了生全員掲載の目標を掲げてきましたので、今回この目標を達成したことになり、編集に携わった者としては感無量です。

さて、本論集は、修了生の希望にもとづき、審査に合格した修士論文を掲載しています。つまり、修士課程での研究の集大成を発表する場となっています。そのため、編集方針として、修士論文の掲載を希望しなかった修了生がいた場合でも、その要旨だけは掲載することとしています。

このように全文を掲載する場合、あるいは要旨を掲載する場合に分かれることがありますが、いずれにしても研究の集大成の発表であることに変わりはありません。

この発表（刊行）により、修了生は、外部から評価を受ける機会を得たわけですが、この機会は、おそらく修了生にとって今後の社会活動での学びにつながっていくものと思います。編集に携わった者としては、修了生に今後この機会を活かしてもらうことを期待するとともに、17巻を手にとっていただいた読者の方には、温かいご評価をお願いする次第です。

今後も、修了生に適切な研究発表の場を与えるべく、編集に努力してまいります。

なお、今回、過去に本学大学院を修了された方の執筆論文も掲載しています。この論文は、教員の指導を受けた修士論文とは異なりますので、掲載内容についてはご本人の責任とさせていただきます。

(櫻井/記)

編 集 委 員 (教員)

○櫻井 弘晃 鈴木 博康 吉村 真性 橋本 聖美 (○印委員長)